

## 第5回魚沼市子ども・子育て会議 会議録

1. 日時	平成28年3月17日(木) 13:30~15:30					
2. 会場	魚沼市中央公民館 2階 中ホール					
3. 出席者 (敬称略)	魚沼市子ども・子育て会議					
	役職	氏名	出欠	役職	氏名	出欠
	会長	中山 節子	○	委員	羽鳥 敦子	○
	副会長	橘 恵子	○	〃	星 弘子	○
	委員	高橋麻衣子	欠	〃	星 智裕	欠
	〃	星 真紀	○	〃	梅井 美子	○
	〃	山之内 渉	○	〃	岡部ひとみ	○
	〃	今井 久子	○	〃	峰川ともみ	欠
	〃	大羽賀孝子	○	〃	木多富士子	○
	〃	山本 都子	○			
魚 沼 市						
魚沼市子ども・子育て会議事務局(教育委員会) ・子ども課長: 高橋和代 ・保育園幼稚園係: 戸田千穂子、吉田 浩 庁内メンバー ・子育て支援センター長 星 裕樹 ・健康増進室主任保健師 五十嵐雅子						
4. 資料	・第5回子ども・子育て会議次第 ・魚沼市子ども・子育て支援事業計画 ・魚沼市子ども・子育て支援事業計画 平成27年度事業評価シート					
5. 会議概要	<p>課長</p> <p>おはようございます。本日は年度末のお忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。</p> <p>本日は3名の方から欠席という連絡をいただいております。半数以上の出席がございますので本会議が成立していることをご報告いたします。</p> <p>本会議につきましては会議内容を録音させていただきますことをご了解ください。</p> <p>事務局</p> <p>(配布資料の説明)</p> <p>会長</p> <p>皆さんこんにちは。お忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。最近日はの暮れが遅いせいか、もう一仕事もう一仕事となり夜になるとどっと疲れてしまうといった毎日になりました。今日いただいた資料で分厚い評価シート</p>					

	<p>があります。イギリスの小説家でスティーブンソンという人がいますが、「刈り取った収穫で評価をするな。自分がどんな種をまいたかで評価しろ。」という言葉の思い起こしました。今日はその評価ですが、担当それぞれ努力をしてそれぞれ成果も出ていると思いますが、私たちは次の種をまくための意見を皆さまから言っていただいで、支援につながるそんな評価をしていきたいと考えておりますのでご協力をお願いいたします。</p> <p>限られた時間ではありますが、いつものようにたくさんのご意見をお願いいたします。</p> <p>それでは次第に沿って進めてまいります。</p> <p>議事（1）「公立保育園等の民営化に係る基本的な考え方」について事務局から説明をお願いします。</p>
課長	<p>今後も事務局において引続き検討し、再度会議にお諮りいたします。</p>
会長	<p>それでは続きまして議事の（2）「魚沼市子ども・子育て支援事業計画の評価検証について」です。事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>本年度からスタートした「魚沼市子ども・子育て支援事業計画」の進捗状況について評価検証を行っていただきたいと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・評価シートの概要、意見の取扱について説明</li> </ul>
説明員 ◆子ども課 ◆健康課 （以下同じ）	<p>◆評価シート1ページ</p> <p>「幼児期の教育・保育」から「妊婦健診事業」まで</p>
会長	<p>では、ここまでのところで質問等をお願いします。</p>
委員	<p>2-1「幼児期の教育・保育」についてです。</p> <p>「1号認定は希望する幼稚園への入園を確保することができました」ということで数的にも施設の余裕は十分あるところですが、方向性では「1号ニーズに対応するため今後も既存の保育園を認定こども園への移行を検討します」とあります。このあたりは矛盾があるのかなという気がします。私立幼稚園が空いているのであれば、そちらを勧めるということは市のほうではないのでしょうか。</p>
説明員	<p>これまでも幼稚園入園を希望する方には、必ず私立1園と公立2園があること</p>

	<p>を紹介しております。</p> <p>魚沼市ではこれまでどちらかというとお住まいの地区の施設を希望する方が多く、保育園でも教育部分の要素を、また幼稚園でも保育部分の要素を補っていると思われます。子ども・子育て新制度においては、幼児期からの教育・保育の一体的な推進が大きな目標となっています。魚沼市においてもこの課題に取り組むべく認定こども園普及の検討が必要と考えております。</p>
会長	<p>ほかにご質問はいかがでしょうか。</p>
委員	<p>平成 28 年度の入園見込み数と確保予定数では、確保予定数がかかなり多いのではないのでしょうか。これからは少子化になりますので見込みよりも 580 人も確保する必要がありますのでしょうか。今後の出生率なども考え見込んだ数値にしたほうがよいのではないのでしょうか。定員などもきちんと考えたほうがよいのではないのでしょうか。</p>
会長	<p>では事務局お願いします。</p>
説明員	<p>幼児期の教育・保育の計画における目標値につきましては、現在の定員を中心に策定した経緯があります。しかし、28 年度から入広瀬幼稚園については休園など、状況も変わってきております。</p> <p>この計画については、計画の中間年である 29 年度に見直すことが予定されていますので、その際にこのあたりの数値も見直しが必要と考えておりますが、計画上の数値を修正作業する年度には、中間年になるのかそれとも、計画の最終年度になるのかは国の方針の確認が必要ですので、今は明言ができない状況にあります。</p>
委員	<p>限られた財源の中では、いつまでも入園人数が少ない園を継続することが本当にどうなのかなと以前から考えております。</p>
会長	<p>他にいかがでしょうか。</p> <p>では、2 ページ目をお願いします。</p>
説明員	<p>◆評価シート 2 ページ</p> <p>「乳児家庭全戸訪問」から「一時預かり事業」まで</p>
委員	<p>3-8 「一時預かり事業」に幼稚園の在園児対応である預かり保育が入っていますが、こちらを利用される方は就労を理由とされる方が多く、保育園の延長保育と同じ区分になるのではないのでしょうか。</p>

説明員	この事業が国から示された際に、幼稚園の在園児対象の「預かり保育」については、こちらの一時預かり事業に入れるようにとのことでしたのでこのような区分となっております。
委員	それでしたらもう少し区分がわかりやすい記載をしたほうがよいと思います。
会長	この事業の定義がわかるように記載したほうがよいというご意見でしたね。次回の評価の際にはよろしく願いいたします。  ほかにいかがでしょうか。 では、3ページ目をお願いします。
説明員	◆評価シート3ページ 「延長保育事業」から「放課後児童健全育成事業」まで
委員	3-10「病児保育と病後児保育」の定員を確認させてください。
説明員	病児保育3名、病後児保育3名で合計6名です。
委員	関連してお願いします。 窓口はどちらになるのでしょうか。そういうことをしっかり伝えていく必要があると思います。今までの利用者から聞いたお話では、利用の仕方が面倒だったり前日までに登録しておかないとだめだったり利用しにくかったと聞いたことがありました。わかりやすく利用しやすいようになればよりよくなるのではと思いました。大変ありがたい事業だと思いますのでよろしくお願いします。
会長	28年度に向けて何かPRがありましたらお願いいたします。
説明員	28年4月から小出病院1階に病児・病後児保育室が開設されます。詳しくは3月25日号の市報をご覧ください。朝8時から午後6時まで開設します。これから市内の各園にチラシと登録票を置いていただくように担当者がいさつに何う予定しております。保育室に看護師1名、保育士2名の配置でスタートします。電話番号は保育室直通となり小出病院の代表番号とは別になっております。登録用紙は病院にはもちろんのこと子育て支援センター、保育園、幼稚園に置きたいと考えておりますので施設の皆様にはご協力をお願いいたします。
会長	ほかにいかがでしょうか。 では、4ページの説明をお願いします。

説明員	<p>◆評価シート4ページ</p> <p>「幼児期の学校教育・保育の一体的提供の推進」から「産後の休業及び育児休業後における特定教育・保育施設等の円滑な利用の確保」まで</p>
委員	<p>4-3「幼保小連携の取組の推進」についてです。</p> <p>幼保小連絡会議というのはどちらの地区でも行われているのですが、交流会というものを独自にやっているところがあります。学校により1年生などと交流会がある地区とない地区があります。親御さんも子どもたちもそのような会があると不安解消にもつながりますし、先生たちにとっても子どもがわかるという点ではとてもよいことだと思います。年間計画や教育課程があり難しいとは思いますが、ある地区ない地区があるのはどうしてかと疑問に感じますので、その辺りが学校独自のものなのか子ども課から提案すれば変わるものなのか教えてください。</p>
会長	<p>では学校としての立場から回答させていただきます。</p> <p>学校教育は当然ながら授業というものです。交流をするにも授業という目的を持って行います。保育所とは時間の使い方が少々異なります。小学1、2年生は生活科という中で、3年生以上でしたら総合的な学習の時間で一定の枠を持ってやっております。</p> <p>もし、保育園・幼稚園において地域によって別で困るということがありましたら、各学校に実態を申し出ていただいて、翌年度の計画を立てる時期に、生活科の中にそういう時間を設けることも可能です。もし個別に言いにくいところがありましたら、子ども課のほうで第1回目の校長会等で言っていただくことも方法ではないかと思えます。</p> <p>そのほかいかがでしょうか。</p> <p>また、最後に感想等でも結構ですので遠慮なくおっしゃってください。</p> <p>では、5ページの説明をお願いします。</p>
説明員	<p>◆評価シート5ページ</p> <p>「児童虐待防止対策の充実」から「障害児施策の充実」中「ステップアップ教室」</p>
委員	<p>「子どもスマイルコール」の件で質問させてください。</p> <p>実際の利用はどのような様子だったのでしょうか。</p>
説明員	<p>実際には子どもがこの電話にかけてきたことはありませんでした。保護者やご近所の方からの利用はございました。</p>

会長	<p>今年度1件あったケースとして、ある方からお子さんが悩んでいるという相談を受けまして、その相談者を經由してお子さんに番号をお伝えしたのですが、結果的にはお子さんからの直接の電話はありませんでした。</p>
副会長	<p>そのほかいかがでしょうか。</p> <p>「要保護対策児童協議会」についてです。</p> <p>私は民生児童委員をやっております。虐待について研修を受ける機会がございます。魚沼市では私たちのところに情報がなくて、現状がよくわかりません。ですが民生児童委員は地域の中にいますので、見守りとか察知したときの連絡というところであれば私どもも協力できるのではないかと思います。何かあった時には子育て支援センターに話をするようにとっておりますが、なかなかうまくいかないのが現状ではないかと。ただ、だいぶ以前ですが、民生委員が呼ばれたケースもありましたが、もう少し連携できるような方法があれば、地域の子ども達がちゃんと育てられるように協力していきたいと思っております。その辺りを考えていただきたいです。</p>
委員	<p>虐待で一番の問題は、虐待されている子どもは両親をかばうという点です。ですから電話番号のカードを出しても子どもは電話しないと思います。</p> <p>したがって私は、もっと踏み込んでもらいたいと思うのです。全国的にいろいろな事件がありますよね。子どもたちは家族のことはけっして言いません。子ども課の段階でもけっして言うとは思いませんね。もっと踏み込んでください。お願いします。</p>
説明員	<p>保育園や幼稚園の子どもは利用することが難しいので引き続き検討してまいります。</p> <p>それから、「踏み込んで」という点ですが、受け止めさせていただきます。児童相談所とセットになって介入することができますので、重篤なケースにあっては、児童相談所に出動いただき一緒に対処していきたいと考えております。また引き続きご協力をお願いします。</p>
会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>ほかにありませんか。</p>
委員	<p>「ステップアップ教室」の件です。</p> <p>今後も利用されるお子さんが増えてくるのではないかと思います。この事業は今後同じような体制と規模で行うのでしょうか。もう少し充実していただけると園にとっても当事者にとってもよいのではないのでしょうか。今年度、途中入園のお子さんで親御さんが希望したケースがあったのですが、入れなかったという経緯がありまして非常に残念がっていました。途中から入ると今までいたお子さんの歩みもあり非常に難</p>

説明員	<p>しいところもあるのですが、希望した方が利用できる体制があれば、なおよいのではないのでしょうか。</p> <p>今のケースはよく承知しております。ケースバイケースでしょうが、途中というのはハードルがあります。しかし、希望されるお子さんが入れるように今後検討していきたいと考えております。</p>
委員	<p>人数的にはどうですか。</p>
説明員	<p>会場の関係があるので増やすのは困難な状況です。</p>
委員	<p>人数が増えたらもっと回数も増やしていけばよいのではないのでしょうか。入りたい人が入れないのは一番よろしくないと思います。</p>
説明員	<p>また検討してまいりたいと思います。</p>
会長	<p>ほかによろしければ次に移ります。</p> <p>では、6ページの説明をお願いします。</p>
説明員	<p>◆評価シート6ページ 「障害児施策の充実」中「教育相談」から「相談支援事業」まで</p>
委員	<p>「支援ファイルの活用」についてです。</p> <p>保育園や支援学校にファイルを持っていても支援する側がファイルを知らない場合があるということを知りました。支援学校などでも担当が変わることで引き継ぎがうまくいかないことがあります。支援する受け皿側への周知が市として足りないのではないのでしょうか。また、一般の方に対しても周知をもっとしてほしいと考えます。せっかく支援ファイルをもらっても家で眠っているというケースもあるような気がします。親が子どもの記録として残しておけばいいというものではないので、せっかくあるものですから有効的に使えるように市のほうからも利用の仕方やメリットを各方面に周知していかないと効果的な活用にならないと思います。</p>
説明員	<p>本日は担当の厚生室が事業対応で出席できず申し訳ありませんでした。</p> <p>今回のご意見を伝えたいと思います。</p> <p>また、子ども課としてもステップアップ教室等で利用しており、また、厚生室と連携しながら考えていきたいと思っています。</p>
会長	<p>ほかにはないのでしょうか。</p>

説明員	<p>では7ページの説明をお願いします。</p>
委員	<p>◆評価シート7ページ</p> <p>「障害児施策の充実」中「特別児童扶養手当」までと「労働者の職業生活と家庭生活との両立が図られるようにするために必要な雇用環境の整備に関する施策との連携」まで</p> <p>「発達障害への意識啓発」というところで、ペアレントプログラムを実施していますが、参加者から非常に良かったという感想を聞いています。講師の話も良かったですし、大変ためになったとのこと。是非とも継続していただきたいと思います。</p> <p>「年中児発達相談」についてですが、保護者が希望してというところですが、ここにつなげるのが非常に難しいところでもあります。信頼関係が一番でしょうけれど、中には拒否なさる親御さんもいらっしゃるの、さきほどの支援ファイルのところ母子手帳と一元化という言葉もありますが、つながりやすいような体制があるといいのではと思います。どうしたらよいかと思うケースがたびたびありますので、26人の方に実施して効果があるというところですので、何か良い方法があればいいなと思っています。参加された方からは、自分の子どもの特性を知って働きかけや言葉かけの方法がわかって良かったという感想を聞いていますのでスムーズにつながるようになればいいなと思います。</p>
説明員	<p>ありがとうございます。後段の部分については私どもも苦慮しているところであり ます。</p> <p>保護者が理解していただけないと話が進まないところです。先生方も苦勞されている と思います。やはり信頼関係が築けるのは園の先生方のお力が一番だと思いますので これからもご協力をお願いしたいと思います。</p> <p>ペアレントプログラムにつきましては来年度も実施したいと考えておりますので よろしく願いいたします。</p>
会長	<p>ありがとうございました。障害を持つお子さんについては年齢が小さければ小さい ほど働きかけていくことが難しい部分です。親御さん自身もお子さんの状況がわから ないという部分があると思います。ただ社会で自立するという長い目を見た時に適正 な支援や適正な教育ができるように関係者が精一杯努力することが大切だと思いま す。今のお話のように関係の小学校・中学校やその後もそうですがこういったお話を ことある機会にお話しいただけるとありがたいと思います。</p>
委員	<p>では、ここまで全体を通してのご意見や感想をお一人ずつお聞かせください。</p> <p>今ほどペアレントプログラムを評価していただきうれしく思います。皆さまペアレ</p>

委員	<p>ントメンターというものをご存知でしょうか。平成 22 年度に厚生労働省から障害者支援事業として始まった事業です。新潟県では平成 25 年、26 年に向けペアレントメンターを行っておりますがほんの数名しか受けていないのです。是非魚沼市でも働きかけていただけたらなと思いました。</p> <p>「養育支援訪問事業」のところで、大変気になった部分として家事支援を含めた子育て支援が必要なケースも見受けられるとありますが、このようなご家庭にお手伝いできたらいいなとつくづく思いました。</p> <p>「地域子育て支援拠点事業」についてです。さきほど方向性等のところ、このまま継続していくという記載がありましたが、説明では 28 年度からすもんこども園でも広場を開催し利用者拡大を目指すとありましたのでそれを記載したほうがよいと思いました。</p> <p>「相談支援ファイル」についてですが、実際に利用していた保護者に感想を聞いてみるのもいいのではないのでしょうか。親同士のネットワークもつながり、教室のあとにお話し合いなどもしているようです。</p> <p>子ども課では健康増進室とうまく連携して就学につながったのですが、学校のほうとのやりとりがその後ないのかなと感じています。切れ目のない支援が必要とあったのですが学校と保健師とのつながりがあるともっとよくなると考えています。</p>
委員	<p>4 ページですが、会の主旨と異なるかもしれませんが、幼児期の学校教育・保育との一体的推進というところについてです。この 4 月から会議に参加していますが、「地域」という考え方を見直すべきではないかと思うのです。1 クラスに 5 人という状況が、はたしてよい教育環境なのかと。子どもにとってどうするのがよい教育環境になるのかということをおも行政も客観的に考えていくことが必要なのではないかと思えます。小学校を地域に残すということは、地域の活性化という面で考えると必要だと思えますが、人数が減っていますので、そういったところで集団生活はもちろんできませんし、地域に小学校があってもよい教育ができるのか少々疑問に思えます。その辺りを市としてどのようにするという考えがあるのかをお聞きしたいです。</p>
会長	<p>学校教育課の所管になりますね。子ども課というより学校の統廃合という問題になると思うのでここではお答えにくいかなと思いますが。</p>
委員	<p>近くの園に入るのが当たり前という考えが色濃く残っていますが、大都市であれば、待機児童がたくさんいることによって親がどの園を選ぶかというところが、自分自身親として大問題ですので、そこから教育を考えるということで、魚沼市より一歩進んでいるという感じがします。地域にあるからそこに行くという考え方を変えないと今後少子化が進む中で親とか地域の人たちの意識を変えていかないとそういう統廃合の問題というのは進んでいかないと思っています。</p>

会長	<p>貴重なご意見ありがとうございました。</p> <p>委員の前段の質問につきましては子ども課から学校教育課に伝えて個別にご回答いただくということでもよろしいでしょうか。</p> <p>ではよろしく申し上げます。</p>
委員	<p>普段生活をしている中で知っていると思っていたことでも、今回の評価シートのように目標や成果、課題、方向性を書き出すことにより明確に見えてくると実感し評価や点検の大切さを実感しました。</p>
副会長	<p>私も評価シートをじっくり見させていただきました。気になるところが一点ありました。新しい湯之谷小学校に学童保育ができるのですが、そこには湯之谷地区の学童利用者全員は入れないのですよね。現在の湯之谷放課後児童クラブとともに2箇所使うということですよね。このシートの記載では全員が新しいところへ入所できると受け止められかねないので、2箇所ということがわかる記載がよいと思いました。</p>
委員	<p>最初は自分の子どもはもう大きいので保育園のことはあまり関係ないかなと思っておりましたが、内容を聞くうちに、子どもたちが何もしないとどんどん減少するという話も出たりして衝撃を受けました。私は市外で働いております。そこでも子どもが減っている地域があり少子化について保育園だけではなくて学校の問題も出て来ています。自分の子どもも卒業後は地元へは戻ってきません。今勉強していることが活かせる会社が魚沼市にあるのかということちょっと考えています。そうするとやはり若い人たちが働けるところがないと子どもが増えないのではないかと思います。子どもの減少は大きな問題ですが、そのためには仕事がないと駄目なのだということを実感しています。</p>
委員	<p>今日は障害関係のお話がたくさんありました。先ほど、園の先生方がなかなか保護者に伝えにくいという話をされていましたが、そこは言うべきことは言っていないといけないのではと考えます。就学時に学校にいろいろつなげてもらったほうがよいと感じており、園などからどんどん言ってもらったほうがよいのではないかと気がしています。</p>
委員	<p>同じ意見です。やはり子どもが大人になりどれくらいサポートしてもらえるようになるか、100%なのか50%位でもいいのかとしたときに小さいころの育ち方や環境次第になるので、障害については親としては認めたくない部分もたくさんあるかと思いますし、伝えにくいかもしれませんがそこは気が付いた時点で園などから、声をかけてもらうことによって、いろいろな相談や関係機関につながり、「実は」と親なら思うことが必ずあるはずだと思います。認めたくないという葛藤を察してあげることによって世界</p>

委員	<p>が広がってくるので、是非声をかけていただけるようになれば小学校に入ってからよりも早いうちのほうがよいと思うのでよろしくお願いします。</p> <p>先日希望していた保育園から入園の許可をもらいほっとしているところです。</p> <p>都会では入れない人働けない人が多い状況ですので、こちらでは入園できありがたいと思っています。入園や就労など、なかなかプレッシャーや心配も多い中、こうしてたくさんの子育て家庭に寄り添って考えてくださる方がたくさんいるということをご心強く思っています。</p>
委員	<p>障害児について、自分はどのような児童でもお受けするというのでやってまいりました。しかし最近、医療を伴う子どもさんにはどのようにしたらよいのかなと考えることがあります。今のところは看護師2名を配置しておりますが、それ以上は難しいかなと。障害児保育において自分の課題としてはこの点だと考えております。</p>
会長	<p>皆さまからたくさんのご意見いただきました。事務局においてはこのご意見を活かして28年度の事業を充実していただきたいと思っています。</p> <p>それでは以上で議事を終了させていただきます。</p> <p>ご協力ありがとうございました。</p>
課長	<p>皆さまありがとうございました。</p> <p>では、27年度末をもちまして、推薦団体での任期や一身上のご都合等で退任される委員をご紹介します。</p> <p>高橋麻衣子委員、星真紀委員、山之内渉委員、大羽賀孝子委員です。</p> <p>以上の4名の皆さまです。</p> <p>これまで大変ありがとうございました。</p> <p>本日は貴重なご意見を頂戴しありがとうございました。以上で閉会とさせていただきます。</p>